

HELLO.HELLO ocarina WORLD

オカリナとピアノの
コラボレーションライブ



Tom Vanopphem

トム バノップヘム [オカリナ]
「世界の果てまでイッテQ」出演
「Youは何しに日本へ？」出演



才能溢れる二人が送る音楽の時間へようこそ
オカリナとピアノの心地よさと力強さが織りなすハーモニー
音の魔法があなたに特別な空間をお届けします
ぜひエネルギーあふれる音楽体験を満喫してください

【曲目】 アニメソング
ジブリメドレー

未来予想図Ⅱ 他

※当日の曲目は変更となる場合がございます。

Sam Pomanti

サム・ポマンティ [ピアノ]
「元B'zサポートメンバー」



2024
3.30

土

開場 13:30
開演 14:00

南砺市井波総合文化センター
メモリアホール

全席指定 一般 2,000円 高校生以下 1,000円 (当日 500円アップ) ※未就学児童のご入場は
ご遠慮いただきます。

ジョイント会員先行発売 2月10日(土) 9:00 ※ジョイント会員特典
1公演2枚まで10%off

一般発売 2月12日(月・祝) 9:00 ※各プレイガイドによって販売開始時刻が
異なる場合がございますがご了承下さい。

■プレイガイド 井波総合文化センター、福野文化創造センターヘリオス、城端伝統芸能会館「じょうはな座」、チケットぴあ(Pコード:263144)、チケットforLINE ▼

お問い合わせ 南砺市井波総合文化センター
☎0763-82-5885

主催 南砺市井波総合文化センター(指定管理者オカベ・ホクテテ共同体)
後援 北日本新聞社、となみ衛星通信テレビ、エフエムとなみ、南砺市教育委員会
共催 北日本放送 協力 オフセンター



HELLO HELLO

Ocarina WORLD

オカリナとピアノの
コラボレーションライブ



Tom
Vanopphem

トム バノップヘム
【オカリナ】

【プロフィール】

1990年ベルギーの首都ブリュッセルで生まれる。1998年(8歳)のときに、日本のビデオゲーム「ゼルダの伝説 一時のオカリナ」でオカリナを知る。長年「オカリナ」はゲームのなかの仮想の楽器だと思っていたが、実際に存在する楽器と知り感動する。2004年に、初めてのオカリナを手にする。その後、webサイトでオカリナ複数管の演奏を見て、自分も演奏してみたいという思いに駆られ、2009年(19歳)複数管オカリナの演奏に取り組み始める。それまで楽器経験がなかったものの、猛練習で音楽知識、演奏力の向上に努めた。イタリア、オーストリア、ギリシャ、中国、台湾など様々な国に赴き、演奏経験を積むとともに、多くの国々で称賛を受けた。その後、神戸で開催されたコンサートに招待され、かねてより夢であった日本を訪れることとなった。短期的な滞在の予定だったが、日本の文化や景色、人々の優しさに触れ、日本にとどまることを決意。2021年10月22日 DREAMS COME TRUEの名曲をオカリナ演奏でカバーしたドリカム公式アルバム「Bittersweet」(UNIVERSAL SIGMA)リリース。日本を愛し、日本文化を愛する、ベルギー出身の世界的なオカリナ奏者トム・バノップヘム。世界が認める彼が、カバーアルバムとしてリリースする際に選んだアーティストは、日本を代表するDREAMS COME TRUE 稀大のメロディーメーカー吉田美和・中村正人の産み出したメロディーは、オカリナという繊細かつ叙情的な音色にもマッチし、楽曲の世界観を引き立てる。まるで言葉が聴こえてくるようなトムのオカリナのメロディーは、全世界の音楽ファン必聴である。2024年1月14日人気番組の「世界の果てまでイッテQ」にオカリナ指導で出演するなど活躍の場を広げている。



Sam
Pomanti

サム・ポマンティ
【ピアノ】

【プロフィール】

カナダで生まれて東京に在住しているコンポーザー/ピアニスト/キーボーディスト/プロデューサーです。多面的な勉強・経験歴史があり、色んなスタイルで活躍しています。コンポーザーとして、短編映画、ドキュメンタリー、ミュージックビデオのBGMなどのプロジェクトに音楽を貢献した経験があり、ソングライター/プロデューサーとしてもR&B、ポップス系の音楽も作っています。制作のときに、「感情」と「雰囲気」を意識しながら、プロジェクトそれぞれの性格に合わせて音楽を作ることは拘りです。サムは成功したピアニスト・キーボーディストでもあり、B'z、INABA/SALAS、稲葉浩志、成田昭次(NARITA THOMAS SIMPSON)、BANKS(バンクス)、Bazzi、Ed Sheeran(エド・シーラン)、Mike Stern(マイク・スターン)、Kim Mitchell(キム・ミッチェル)、ISAO、(スコット・ヘルマン)などの国際的なアーティストとステージでもスタジオでも活躍した経験もあります。2023年の2月に、稲葉浩志のen3.5にサポートメンバーとして参加し、横浜アリーナで演奏しました。2023年から、幼いころから愛しているゲーム音楽を実際作るようになり、日本の大手ゲーム会社と編曲の活動をしています。サムは日本で作られた映画やゲームをきっかけに日本に興味を持ち、旅行と日本での仕事を通じてその興味が愛に咲き、日本語を二十歳のときから勉強し始めました。2023年には日本語能力試験の最上級レベル「N1」に受かりました。